

## 編 集 後 記

予定通りに第13号を発刊できることをうれしく思っています。新指導要領が発表されてより数々の批判はなされましたが、もはやたんなる批判の時機ではなく実際に授業をした立場よりの検討が大切と思い、当初は本号に於いて実地授業よりみた指導要領の検討を行いたいと思っていました。しかし、実際にはなかなか思うようにいかず一部の教科のみに限られましたが、いささかでも、その意向が察せられれば幸いと存じます。

4年程前より全国の国立付属高等学校が一緒に研究会をしようということになり、昨年11月には第3回が東京教育大駒場で行われました。つづいて本年の10月下旬か11月上旬には第4回が本校で開催されることになっています。学習指導としては外国語、保健体育となっており、他に生活指導と三つの分科会に分れて行います。付属連盟の会も年々盛会になっており、今年もかなり盛況が予想されます。われわれも微力ではあるが全力をあげようと思っています。期間は二日間で、今のところ11月1日、2日として3、4日の連休の前を予定しています。全国より、もちよられた研究発表、またそれらについての検討を行って、高校教育の発展に少しでも役立てばと思っています。9月頃には案内状を発送しますから諸先生の御協力を御願い致します。

本校もいよいよ4月には新校舎が完成され小さいながら、まずまず普通の施設をもてるようになります。今後、ますます頑張りたいと思っています。

(出石 隆)

高校  
教育  
研究  
第十三号

昭和37年3月1日 印刷

昭和37年3月10日 発行

金沢大学教育学部付属高等学校内

編集人  
兼発行人

村上 賢三

金沢市野田町チ180

発行所

高校教育研究会

金沢市大手町28

印刷所

株式会社 橋本 確文堂